



2025年3月31日

各 位

会 社 名 株式会社オーテック
代表者名 代表取締役社長 市原 伸一
(コード番号 1736 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理本部長 安野 進
(TEL 03-3699-0411)

第4次中期経営計画策定に関するお知らせ

当社グループは、2025年3月期を初年度とする3か年の第4次中期経営計画（2025年4月～2027年3月）を策定しましたので、お知らせいたします。

当社グループでは、これまで2025年3月期を最終年度とする中期経営計画を策定し、その基本方針として、「経営基盤の充実」、「事業基盤の成長」、「エンゲージメントの向上」の3つを基本方針として掲げ、持続的成長と企業価値の向上に取り組んでまいりました。

第4次中期経営計画では、これまでの成果を踏まえつつ、経営基盤のさらなる強化と事業成長に向けた取り組みを推進してまいります。特に、持続的な企業価値向上を図るため、各種施策の実行力を高め、競争力の強化に努めていく方針です。

創業100年を迎える2034年に向けた長期ビジョンの実現に向け、確実な成長の礎を築きながら、次のステージへと歩みを進めてまいります。株主及び関係者の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以 上



2025年3月31日
証券コード1736

中期経営計画(2025年度～2027年度) —V100への躍進:成長軌道の確立—



会社概要

オーテックグループの紹介

社名

株式会社オーテック

創業

1934年5月26日

創立

1948年7月16日

従業員数

529名(連結)、403名(単体) ※2024年12月末現在

事業内容/拠点

環境システム事業

自動制御システムの設計・施工・メンテナンス

● 支店

北海道・東北・北関東・東関東・東京・横浜・中部

● 営業所

帯広・旭川・苫小牧・秋田・盛岡・郡山

埼玉・千葉・多摩・岐阜・飛騨・浜松・三重

管工機材事業

管工機材及び環境関連機器の販売

● 支店

札幌・東京・大阪

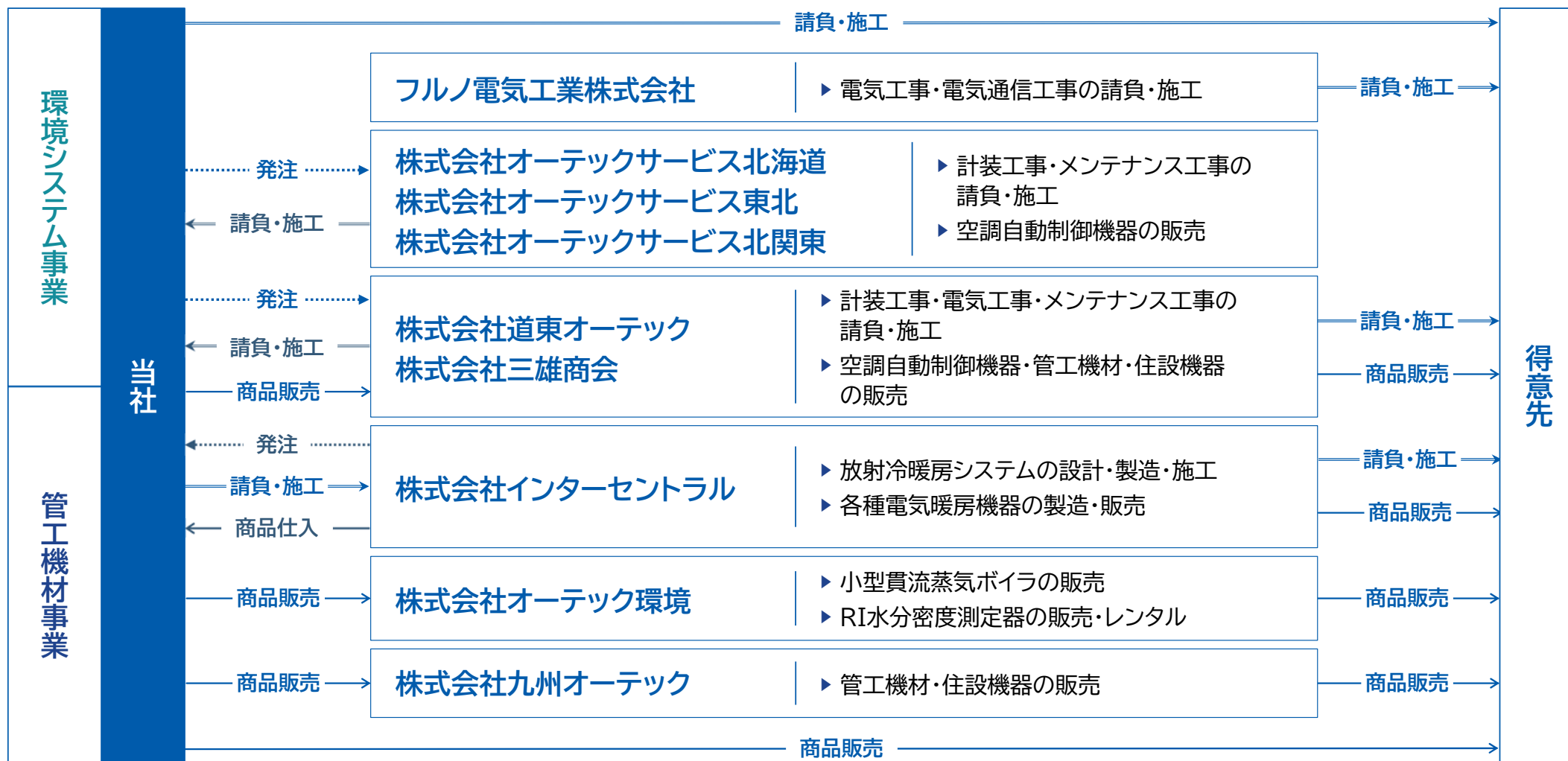
● 営業所

仙台・名古屋

- 環境システム事業の支店・営業所
- 管工機材事業の支店・営業所
- グループ会社の主な拠点



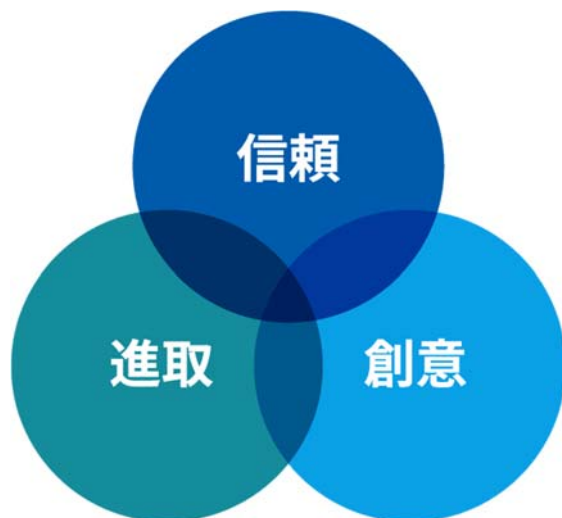
オーテックグループの紹介



経営理念

「信頼」「進取」「創意」のもと、 快適な建物環境づくりをめざして

私たちは、持続可能な社会に貢献することを目指しています。
そのために、以下の3つの価値観を大切にします。



この経営理念の実現を使命として、私達は全社一丸となって明日のオーテックを築いてまいります。創業以来の豊富な経験と知識で、社会や顧客のニーズに敏感に対応できる機動力ある経営を目指し、技術の強化と販売システムの合理化に取り組んでまいります。

信頼

1. 信頼 ～未来を支える共感～

取引先、従業員、地域社会などあらゆる関係先との誠実なコミュニケーションを通じて、ステークホルダーとの信頼関係を築きます。「信頼」は、私たちの事業の基盤であり、未来を支える共感の源泉です。

進取

2. 進取 ～革新的な未来への挑戦～

新たなアイデアや革新的なアプローチを常に追求します。高い技術力と優れたサービスを提供することで、お客様の課題を解決し、価値を創造します。「進取」は、私たちの事業の原動力であり、革新的な未来への挑戦の姿勢です。

創意

3. 創意 ～個々の成長と社会の豊かさの提供～

従業員の新たな創造力を発揮させることで、会社の成長を実現します。また、会社の成果を社会に還元することで、ゆとりある生活の実現に貢献します。「創意」は、私たちの事業の目的であり、個々の成長と社会の豊かさの提供の手段です。

ビジネスモデル

オーテックのビジネスは、建物設備の設計段階から包括的な関与をし、多様な調達ネットワークを活用して、快適さと環境負荷軽減を両立する最適な製品組合せのソリューションを提供します。

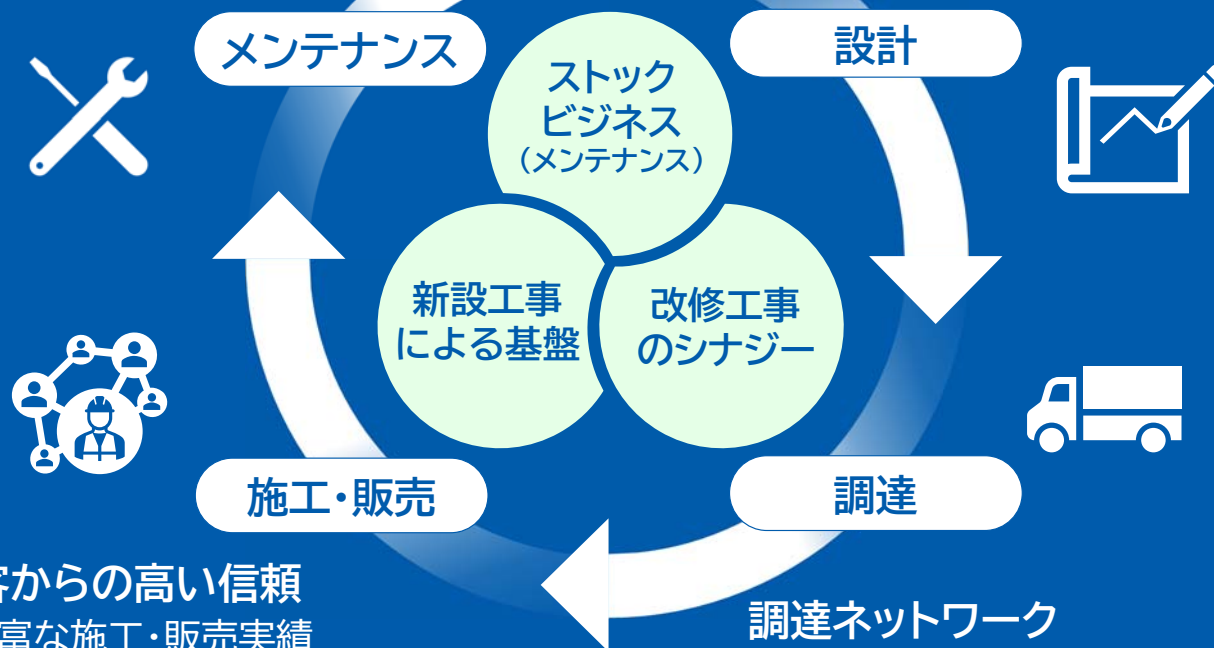
空調、衛生設備等の新設工事を受注することで、顧客基盤・施工物件基盤を拡充し、メンテナンスの安定的かつ効率的なストックビジネスへと繋げていく事が成長の機軸となります。また、これらの基盤を環境システム事業と管工機材事業で共有することにより、改修工事の協働等のシナジーが発揮されます。

安定稼働・高効率化

- 建物設備の長寿命化、機能維持
- データ取得・解析・活用
- 緊急時の迅速な復旧

設計ノウハウ

- 設計段階からの包括的な関与
- ナレッジの活用による運用の最適化
- 最適な建物環境へのソリューション



顧客からの高い信頼

- 豊富な施工・販売実績
- 自社管理による誠実、迅速な対応
- 地域密着の協力会社ネットワーク

調達ネットワーク

- アズビルとの特約店契約
- 多品種商材を調達
- インターセントラルでの製造 (放射冷暖房、電気ヒーター)

第3次中期経営計画の振り返り (2022年度～2024年度)

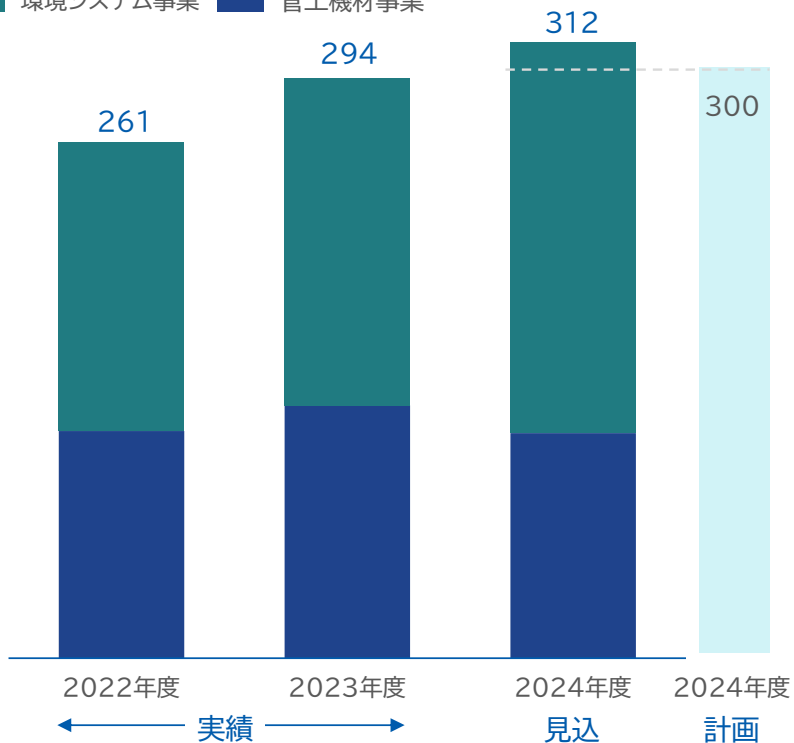
経営数値目標の達成状況

売上高の増加と工事採算性の改善により、営業利益、ROE目標はいずれも達成見込み

売上高の推移

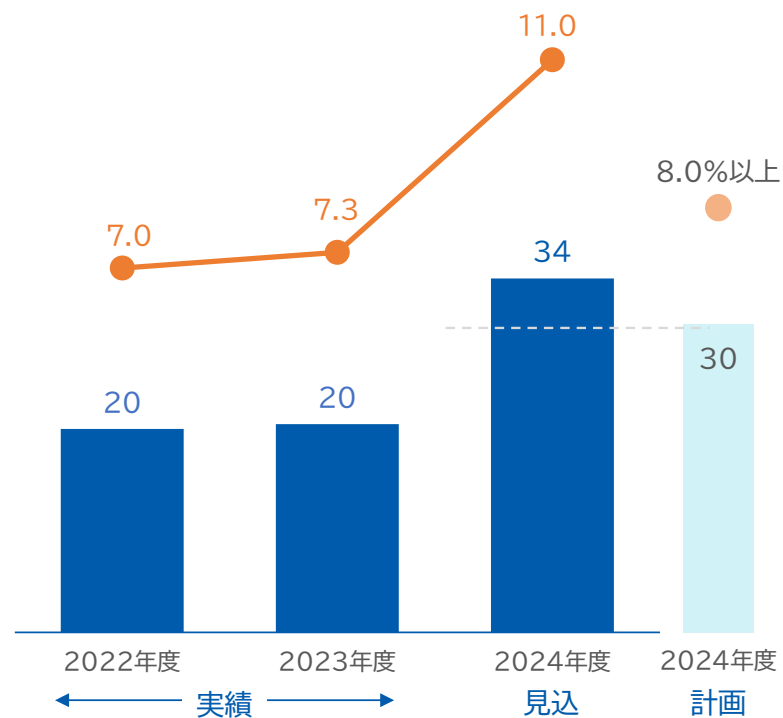
売上高(億円)

■ 環境システム事業 ■ 管工機材事業




営業利益・ROEの推移



■ 営業利益(億円) ● ROE(%)




重点テーマの実施状況

テーマ	方針	重点施策	実施状況
 経営基盤の 充実	収益力重視の経営と成長投資	付加価値の高い経営資源への投資	人的資本への投資と資本コストを意識した経営 <ul style="list-style-type: none"> 次世代経営層の育成と「長期ビジョンV100」策定・公表 「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」を開示
		DX推進による業務改革（プロジェクト管理強化）	システム刷新と業務改革の推進 <ul style="list-style-type: none"> 新販売システム、新工事システムを運用開始 ワークフローシステムほか業務効率化ツールを拡充 データリテラシー向上を目的とした教育研修を実施
	コーポレートガバナンス体制の充実	会社経営の透明性確保（内部統制・諮問委員会）	透明性向上のための委員会設置と運営 <ul style="list-style-type: none"> 指名諮問委員会、報酬諮問委員会を定期的で開催 内部統制委員会を継続的に実施
		コンプライアンス体制の充実	各種方針の制定と体制強化 <ul style="list-style-type: none"> 人権方針、人材育成方針、社内環境整備方針、調達基本方針を制定 改正道交法に対応する通信型ドライブレコーダ及びアルコール検知器を導入


重点テーマの実施状況

テーマ	方針	重点施策	実施状況
 経営基盤の 充実	サステナビリティ経営 の推進	サステナビリティ委員会 設置と課題への取り組み	サステナビリティ推進体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ委員会を2022年に設置 サステナビリティ基本方針とマテリアリティを制定
		SDGs長期ビジョンの 策定	社外評価の獲得 <ul style="list-style-type: none"> EcoVadisの「シルバーメダル」評価を取得 北海道支店がZEBリーディング・オーナーに登録 CDP評価の「C」判定を取得
 事業基盤 の成長	中核事業の強化	ソリューション事業の 強化・発展	データを活用した提案力強化と業務効率化 <ul style="list-style-type: none"> 既存のストックデータを整備 メンテナンス現場への予防保全の提案強化 メンテナンス報告書及び中長期修繕計画書作成アプリの開発と 全社展開
		放射空調システムの事業 協業展開	IC社のプロモーションと製造能力の強化 <ul style="list-style-type: none"> 放射空調システムや放射・対流ハイブリッドシステムを体感できる ショールームを整備 北海道支店の建物に放射空調システムを採用、NearlyZEB認証を 取得 放射パネル生産体制を整備する倉庫を新設、物流効率を強化


重点テーマの実施状況

テーマ	方針	重点施策	実施状況
 事業基盤 の成長	事業領域の拡大	グループ連携を活用した事業の深化と拡大	グループとしての資産の有効活用・連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・グループファイナンスの導入 ・事務所スペースの共有活用 ・管工機材事業部での放射パネルの販売推進
		管工機材の新規ビジネスへの展開	管工機材事業の業容拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・受水槽の材工一式販売を展開 ・顧客とのWEBサイトの連携
	組織体制の再構築	地域連携プロジェクト体制の構築	大型案件に対応できる地域連携体制の構築検討 <ul style="list-style-type: none"> ・大型案件対応の体制構築は、今後の課題として引続き検討
		安全安心を志向した労務体制	安全衛生活動の強化と作業環境の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生協力会を本部・支部による全国組織体制に改定 ・会則の見直しと全店統一、協力会労災上乘保険に加入 ・作業性を重視したユニフォーム及び防寒着を導入


重点テーマの実施状況

テーマ	方針	重点施策	実施状況
 <p>エンゲージメントの向上</p>	<p>教育・研修制度の充実</p>	<p>グループ会社を含めた教育・研修の充実</p>	<p>グループ会社社員の本社研修への受入</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ会社4社から4名が本社研修に参加 新卒派遣を7名受入 人材受入の多様化と本社研修への参加による技能の習得
		<p>階層別／職種別研修 カリキュラムの充実と実施</p>	<p>研修の体系化、プログラムの再編を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 若手社員向け研修プログラム「ヒューマンスキル研修」導入 新任管理職を対象にした「管理職研修」の実施


重点テーマの実施状況

テーマ	方針	重点施策	実施状況
 <p>エンゲージメントの向上</p>	ダイバーシティの推進	多様な人材が活躍できる キャリアデザインの推進	<p>一般職から総合職へのコース転換制度の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性総合職人数16名到達(2024年4月新規転換者5名増、目標人数15名を前倒し達成) 転換を促進するための制度に改定 一般職社員を対象にした「キャリアデザイン研修」実施 社内広報による意識変化で、コース転換を希望する社員増加
			<p>資格手当の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務系社員に対して新たに資格手当制定
			<p>シニアの役割を再定義、活躍の動機づくりの環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> シニア向け研修「ライフキャリア研修」実施 セカンドキャリアを自律的に考える社員が増加 管理職研修のプログラムの見直しを実施 (管理職の意識が変革、働きやすい環境づくり)

重点テーマの実施状況

テーマ	方針	重点施策	実施状況									
 <p>エンゲージメントの向上</p>	ダイバーシティの推進	女性が活躍できる制度の整備	<p>育児休暇の取得推進・時短勤務の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 育児取得率は大幅に改善 <table border="1" data-bbox="1568 494 2016 638"> <thead> <tr> <th></th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女性</td> <td>100.0%</td> <td>112.5%</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>0.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> 社内広報の拡充 社内ポータルに「男性育休取得者インタビュー」の掲載による育休取得への意識醸成 時短勤務を3歳迄から小学校入学迄に拡大 		2022年度	2023年度	女性	100.0%	112.5%	男性	0.0%	100.0%
				2022年度	2023年度							
			女性	100.0%	112.5%							
			男性	0.0%	100.0%							
<p>ウェルネス休暇制度の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用しやすくするため名称変更を実施 健康増進やストレス軽減のための活用を推進 												
<p>女性総合職に対する研修をスタート</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性リーダー向け研修「WLP」を実施 												
<p>えるぼし認定の取得の推進</p>												

重点テーマの実施状況

テーマ	方針	重点施策	実施状況
 <p>エンゲージメントの向上</p>	<p>イキイキ働ける労働環境の整備</p>	<p>ワークライフバランスの実現と体制の構築</p>	<p>働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 働き方改革コンサルティング(CC Project)を継続実施 リモート環境の整備（現場作業の効率化、DXの進展）
		<p>健康的で働きやすい職場環境の整備</p>	<p>オフィス環境の改善(ハード面の改善)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全拠点のワンフロア化を行い、社内の一体感を醸成 機能性と居心地面の両面を満たす空間の造成（移転、改修予定は残り1拠点）
			<p>健康経営優良法人認定の取得</p> <ul style="list-style-type: none"> 2023年度認定を取得、継続取得の推進 喫煙率、適正体重維持、有休取得率目標達成を目指す

取組事例の紹介 | 経営基盤の充実

株主還元・サステナビリティ課題の取り組み

効果的なコーポレートアクションで上場来最高値を更新



国際的なサステナビリティ評価機関からダブル評価



増配の公表に合わせ、コーポレートアクションを実施。
従業員への株式交付を目的としたESOP信託導入時と比較し
株価は197%に成長しました。

※当社は、2025年4月1日付で、普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行うことを予定しております。
このため、上記は当該株式分割前の株価を記載しております。

国際的なサステナビリティ評価機関であるEcovadisから
「シルバーメダル」を、また環境情報開示機関であるCDPから
は「C」評価をそれぞれ獲得いたしました。

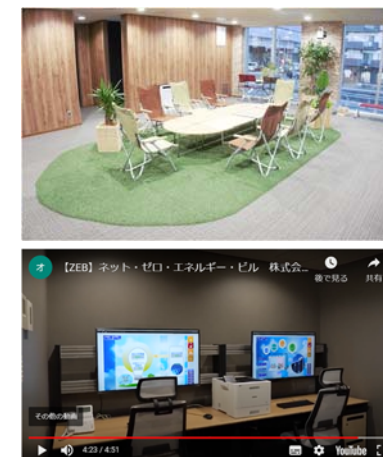
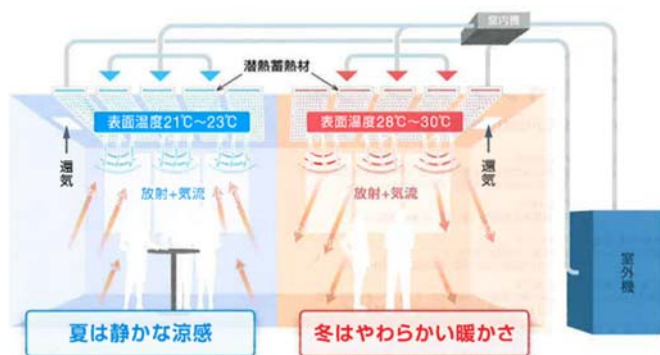
取組事例の紹介 | 経営基盤の充実

ZEB認証取得(Nearly ZEB)による空調制御技術の高度化

NearlyZEB認証 北海道支店省エネW受賞達成

ZEB関連ビジネス推進とエネルギー効率向上の取組

空気式天井放射冷暖房システム



当社の自動制御システムと空気式天井放射冷暖房システムを導入、基準一次エネルギー消費量を81%削減しNearlyZEB認証を取得。2024年北海道省エネ促進大賞奨励賞、2025年経済産業省北国の省エネ・省エネ大賞優秀賞を受賞しました。

ZEBリーディングオーナー認証を取得し、ゼロエネルギービル関連ビジネスを推進しています。自動制御システム施工・運用経験を活かし、エネルギー効率の最大化と再生可能エネルギー導入に貢献しています。

取組事例の紹介 | 経営基盤の充実

ICT・DX技術を活用した現場管理とサポートシステム

iPadを活用したChexによる現場管理システム



▲ 施工図と現場の確認



▲ 簡易中央データ確認

iPadとChexを使用し、リアルタイムで進捗状況を確認することで、作業指示を即座に共有できます。情報伝達が迅速化し、手書きの報告書やチェックリストが不要となりました。作業ミスの削減、業務の可視化、コミュニケーションの改善が実現し、全体的な作業効率が向上しています。

スマートグラスを活用した遠隔サポートシステム



▲ スマートグラスを活用した遠隔サポート



▲ スマートグラスの着用

現場の作業者はリアルタイムで社内と接続でき、指示やアドバイスを受けることができます。問題解決のスピードが向上し現場における課題解決を迅速に解決できます。また、視覚的な情報共有により、作業の精度が向上し、工程全体を通じて作業効率を大幅に改善できます。

取組事例の紹介 | 事業基盤の成長

放射冷暖房体感ルームと新倉庫設置による強化施策

放射冷暖房体感ルーム設置と実験環境の整備



(株)インターセントラル盛岡研究所にARCH認定設備を設置し、夏の高温多湿や冬の低温乾燥を再現できる環境実験室を整備しました。放射冷暖房体感ルームを北海道・東京・大阪地区に、電気ヒーター体感ルームを北海道・大阪地区に整備しました。

(株)インターセントラル新倉庫の設置による供給・在庫管理の強化



(株)インターセントラルの新倉庫を盛岡工場近隣に新設して、製品の安定供給と在庫管理の強化を実現しました。

取組事例の紹介 | エンゲージメントの向上

健康経営優良法人認証取得と簡易版BCPマニュアル整備

「健康経営優良法人2024」を認証取得

簡易BCPマニュアル策定で事業継続に備え



従業員の健康増進と企業の持続的成長を両立させる取り組みが評価され健康経営優良法人の認証を取得。男性育休取得率も2023年度0%から2024年度100%へと大幅に増加しました。



事業継続性の強化を重要な経営課題と捉え、災害や緊急事態発生時における事業の早期復旧と継続を目的とした簡易版BCP(事業継続計画)マニュアルの策定に取り組みました。災害時における従業員の安全確保と事業継続性の両立を図り、企業全体のリスク管理体制を強化しています。

取組事例の紹介 | エンゲージメントの向上

働き方改革と社内推進: CC Projectの取組み

働き方改革に関する講演活動



東京都主催講演会に市原社長が登壇いたしました。
働き方改革に関する当社取組を社内外に情報発信しています。

働き方改革コンサルティングの導入(CC Project)



全店に働き方改革コンサルティングを展開しています。
従来の働き方を見直し、長時間労働の防止につなげています。

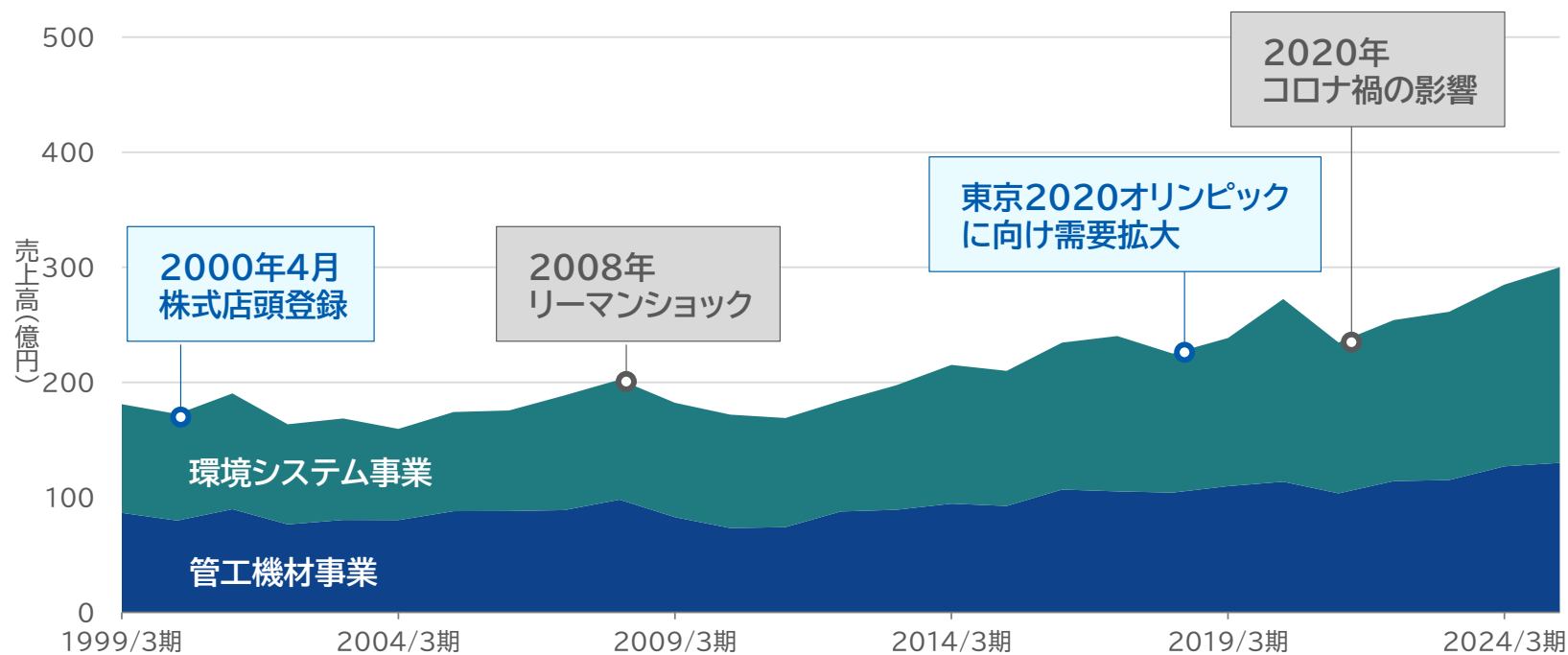


長期ビジョンV100

オーテックの歩みとありたい姿

■ 建物を快適に、未来をサステナブルに。

- ・ 快適な建物環境を通じて、持続可能な社会の実現に貢献する会社
- ・ 家族からもお客様からも愛され、人が集う会社



ネクストステージに向け

売上高 **450** 億円 へ成長

2024/3期
(創業100年)

(注)セグメント情報は現開示に合わせて修正

長期ビジョンV100 実現に向けた取組み

事業基盤の拡大

多様な人材
の確保



エンゲージメント
の向上



社員とともに
成長する会社



環境システム事業



サステナブル建築に貢献する事業の推進

- ソリューションの提供による建物環境の最適化
- ZEB推進への取り組み
- カーボンニュートラルに貢献する製品・サービスの提供

管工機材事業



専門商社としての機能充実と
高い収益構造への改革

- 提案営業による事業領域の拡大と深耕
- 多様な商品供給による持続可能で安定的な社会の実現
- ワンストップサービス体制の強化、成長

持続的・
安定的な
株主還元



人的資本への
投資



成長事業分野
への投資



長期ビジョンV100



売上高
450億円

営業利益
45億円



ROE
10%以上

ESG目標の達成

ESG目標 環境に関するマテリアリティ

マテリアリティ	取組テーマ	目標	2030年度 目標値	取組方針
 省エネ・省資源・GHG排出量削減に配慮した事業推進	環境配慮型商品の供給による省資源	環境配慮型商品の売上構成比	30%以上	研修カリキュラムにメーカー研修を組み入れ環境配慮型商品の提案力を向上
	エネルギーの高効率化、配送の効率化による省エネ・GHG排出量削減	建物のエネルギー高効率化に貢献できる自動制御システム事業の売上高伸長率	2022年度比 30%増	エネルギー高効率化に傾注した自動制御システム事業の推進
		CO2削減効果の高い直送・共同配送への転換を進めた効率配送による売上高比率	70%以上	物流プロセスの見直しを行い、CO2削減効果の大きい直接配送や共同配送に転換
	Scope1～3のGHG排出量削減	社用車の燃料消費量の削減によるScope1のGHG排出量の削減率	2013年度比 46%削減	車両入替時にエコカー(EV、PHEV、HV)導入を推進
		再エネ等の取り組みによるScope2のGHG排出量の削減率	2013年度比 46%削減	自社ビルにおけるZEB化の推進 電力の再生可能エネルギーの活用
		Scope3のGHG排出量の削減率	—	Scope3のGHG排出量を算出した上で、削減策について今後検討
 快適で安全安心な建物環境の確保	メンテナンス、改修工事による持続可能なまちづくりの促進	メンテナンス売上高伸長率	2022年度比 30%増	竣工物件に対するメンテナンス契約割合向上
		提案型営業によるソリューション事業の売上高伸長率	2022年度比 35%増	省エネ提案の強化、ソリューション事業の推進

ESG目標 社会・ガバナンスに関するマテリアリティ

マテリアリティ	取組テーマ	目標	2030年度 目標値	取組方針
 多様な人材がい きいきと働ける 職場環境づくり	女性が活躍できる制度 の整備	育休取得率	女性100% 男性85%	多様化する働き方に合わせた制度設計により、 仕事とプライベートを両立して働きやすい環境を 整備 女性の一般職から総合職へのコース転換促進
		管理職の女性比率	10%以上	
	若年層の教育とサポート 体制の確立	教育の継続的な実施	—	階層別/職種別研修カリキュラムの充実 若年層(35歳未満)の育成を積極的に推進
	健康的で働きやすい職場 環境の整備	Well Being スコア (従業員エンゲージメント)	良好の維持	健康経営優良法人認定の継続を目指して健康経 営を推進 働きやすい環境の整備(オフィス環境整備、育児 休暇等の制度、テレワーク等)
		有給休暇取得率	80%以上	休暇の多様な取得を促進
	社会貢献活動への参加・ 支援	会社としての社会貢献活動	—	地域のコミュニティ活動に参画、支援を推進
 企業倫理・ガバナ ンス体制の強化	コンプライアンス体制の 強化	重大な法令違反件数	0件 (毎年)	コンプライアンス教育の実施(受講率100%)
	リスクマネジメント強化	Eco vadisのスコア	60点以上 の維持	生物多様性等の各種宣言と分析・対応を推進



中期経営計画
(2025年度～2027年度)

価値創造プロセス

- 快適な建物環境を提供するバリューチェーンを構築
- 変化する外部環境に強みを活かして対応し、持続可能な社会の実現に貢献

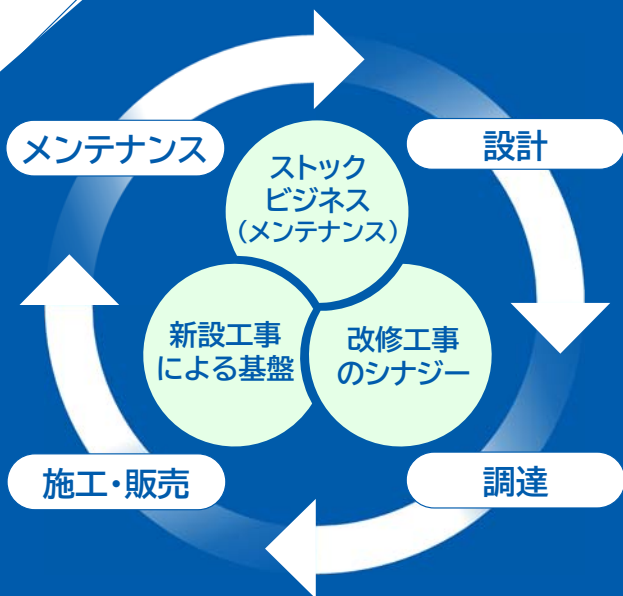
外部環境のトレンド

- ・ サステナブルな建築への転換
- ・ パーソナルな「快適さ」への進化
- ・ オンサイトの省力化、省人化

価値創造の源泉となる資本

- ・ 誠実で信頼される人材
- ・ 設計、施工管理、建物の運用ノウハウ
- ・ 放射冷暖房、電気ヒーターの製造ノウハウ、知的財産
- ・ 安定的な財務基盤
- ・ 多様な調達ネットワーク
- ・ 施工協力会社
- ・ 豊富な施工実績

ビジネスモデル



4つのマテリアリティ

1. 省エネ・省資源・GHG排出量削減に配慮した事業推進
2. 快適で安全安心な建物環境の確保
3. 多様な人材がいきいきと働ける職場環境づくり
4. 企業倫理・ガバナンス体制の強化

建物を快適に、未来をサステナブルに。

- ・ 快適な建物環境を通じて、持続可能な社会の実現に貢献する会社
- ・ 家族からもお客様からも愛され、人が集う会社

社会価値と経済価値の創出

- ・ 多様な人材が育ち、活躍する環境
- ・ 各種ノウハウの深化・拡充
- ・ 放射冷暖房システムの進化、知見を活かした製品づくり
- ・ 持続的な成長、株主還元
- ・ 調達先、施工協力会社の成長・拡充
- ・ 新商材・新商流の開拓
- ・ 施工実績による会社知名度のアップ
- ・ スtockビジネスの伸長

外部環境のトレンドと影響見込

建設業界全体 サステナブルな建築への転換

- 「つくって壊す」フロー型社会から「よいものを長く大切に使う」ストック型社会への転換
- 脱炭素社会実現に向けたZEB建築物の推進
- 建設業就業者の減少、多様な働き方への対応



- メンテナンス、改修工事の需要増加
- 設計・施工・運用の各段階において、自然環境に配慮したサステナブル建築の需要増加
- 技術者不足、建設の工業化、建設コストアップ

環境システム事業 パーソナルな「快適さ」への進化

- 監視・管理のクラウド化とオンデマンドによるアップデート
- 多様な快適さに応える空調システムの進化
- 省エネルギーと再生可能エネルギーの促進
- リニューアル、保全サービス需要の増加



- オンプレミスでのフィールド作業軽減
- 導入設備の変化と顧客需要に合わせた設備制御
- 建物エネルギーデータの見える化
- メンテナンス形態、改修工事形態の変化

管工機材事業 オンサイトの省力化、省人化

- 施工のプレハブ化、ユニット化の加速
- 受発注業務などデジタル化の推進
- スtock型社会によるリノベーション需要の増加



- 品質や規格統一が進み商品の差別化要因が減少
- IT投資の増加、受発注業務の効率化
- 工事需要増加による技術者不足

中期経営方針

環境システム事業



- / 01 ソリューションの提供による建物環境の最適化
- / 02 カーボンニュートラルに貢献する製品・サービスの提供とZEB推進への取り組み
- / 03 特殊プロジェクトへの取り組み

管工機材事業



- / 01 提案営業による事業領域の拡大と深耕
- / 02 多様な商品供給による持続可能で安定的な社会の実現
- / 03 ワンストップサービス体制の推進と成長

経営基盤強化

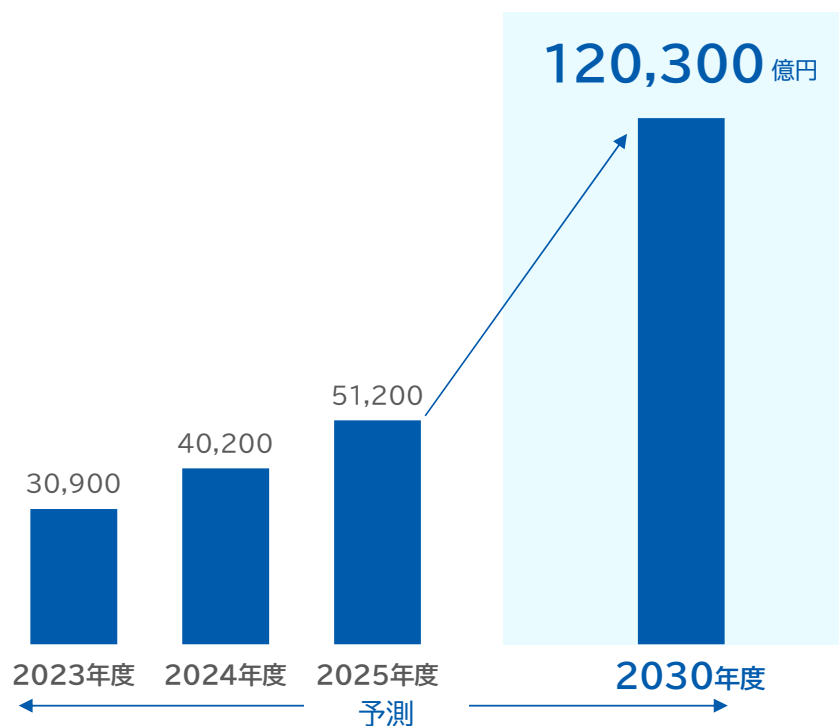


- / 01 エンゲージメント強化（人的資本経営）
- / 02 DX推進による生産性向上
- / 03 コーポレートガバナンスの強化

事業戦略 環境システム事業

ZEBをはじめとするサステナブル建築への貢献

国内ZEB市場の規模予測



注.ZEB建築物の工事費ベース
出所:株式会社矢野経済研究所「ZEB市場に関する調査(2023年)」(2023年8月31日発表)

01 ソリューション提供による建物環境の最適化

- 施工物件のデータ集積と提案力の向上
- 改修・リニューアル工事の拡大
- メンテナンス契約割合の増加

02 カーボンニュートラルに貢献する製品・サービスの提供とZEB推進への取り組み

- エネルギー負荷抑制と再生可能エネルギーを用い、クラウドBEMSを活用した設計・施工の提案
- 放射冷暖房システムの導入拡大

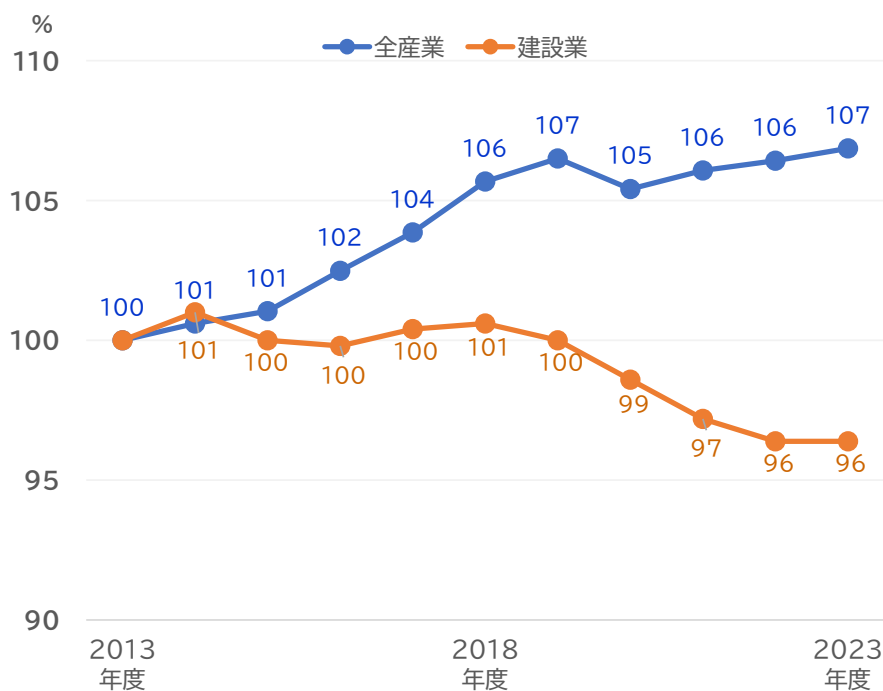
03 特殊プロジェクトへの取り組み

- 支店間の営業・技術面での連携強化

事業戦略 管工機材事業

専門商社としての機能充実と高い収益構造への改革

就業者数の増加率の推移(全産業/建設業)



※2013年度の就業者数を100とする

出所:総務省統計局
「労働力調査 基本集計 全都道府県」

01 提案営業による事業領域の拡大と深耕

- 人材確保と教育による営業力の強化
- 施工知識の習得による販路の拡大
- 環境配慮型商品の提案力の向上

02 多様な商品供給による持続可能で安定的な社会の実現

- 顧客連携を含むECサイトの機能充実
- 商品ラインナップの充実
- 同業者との関係強化と物流プロセスの進化

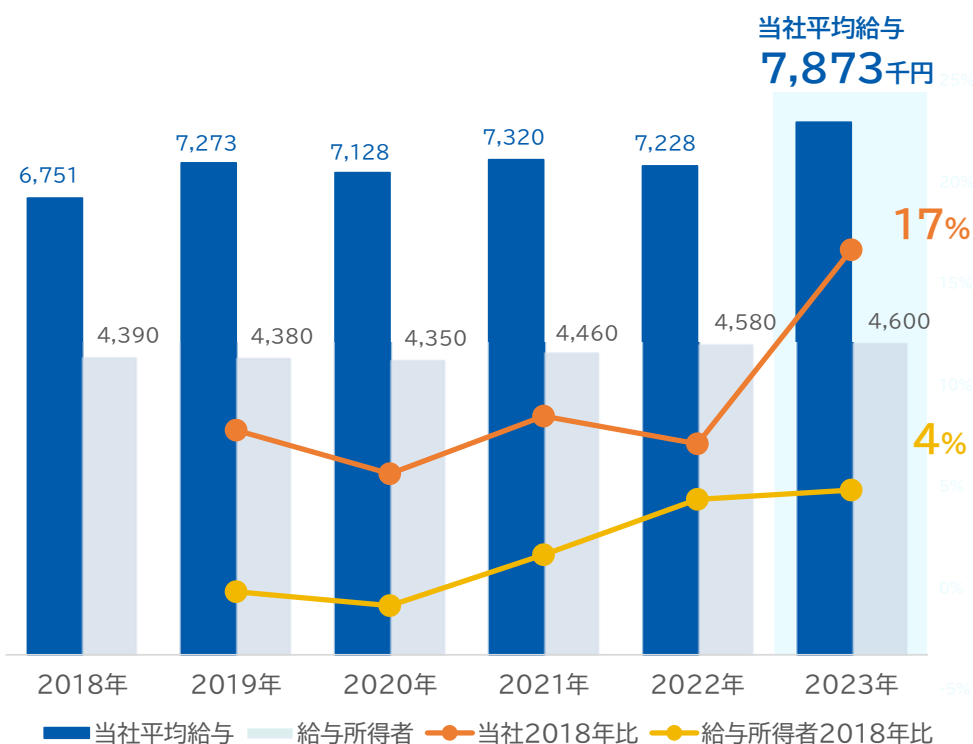
03 ワンストップサービス体制の推進と成長

- 販売システムへのリモートアクセスによる迅速な対応
- 工事を含めたワンストップ化の促進
- M&Aによる人材と技術の確保

経営基盤強化

企業価値向上とエンゲージメント改善に向けたDX推進とガバナンスの強化

当社と給与所得者の平均給与の比較(2018年比を含む)



01 エンゲージメント強化(人的資本経営)

- キャリア開発の支援
- 女性活躍のさらなる促進
- 働き方改革の推進
- 健康経営の進展

02 DX推進による生産性向上

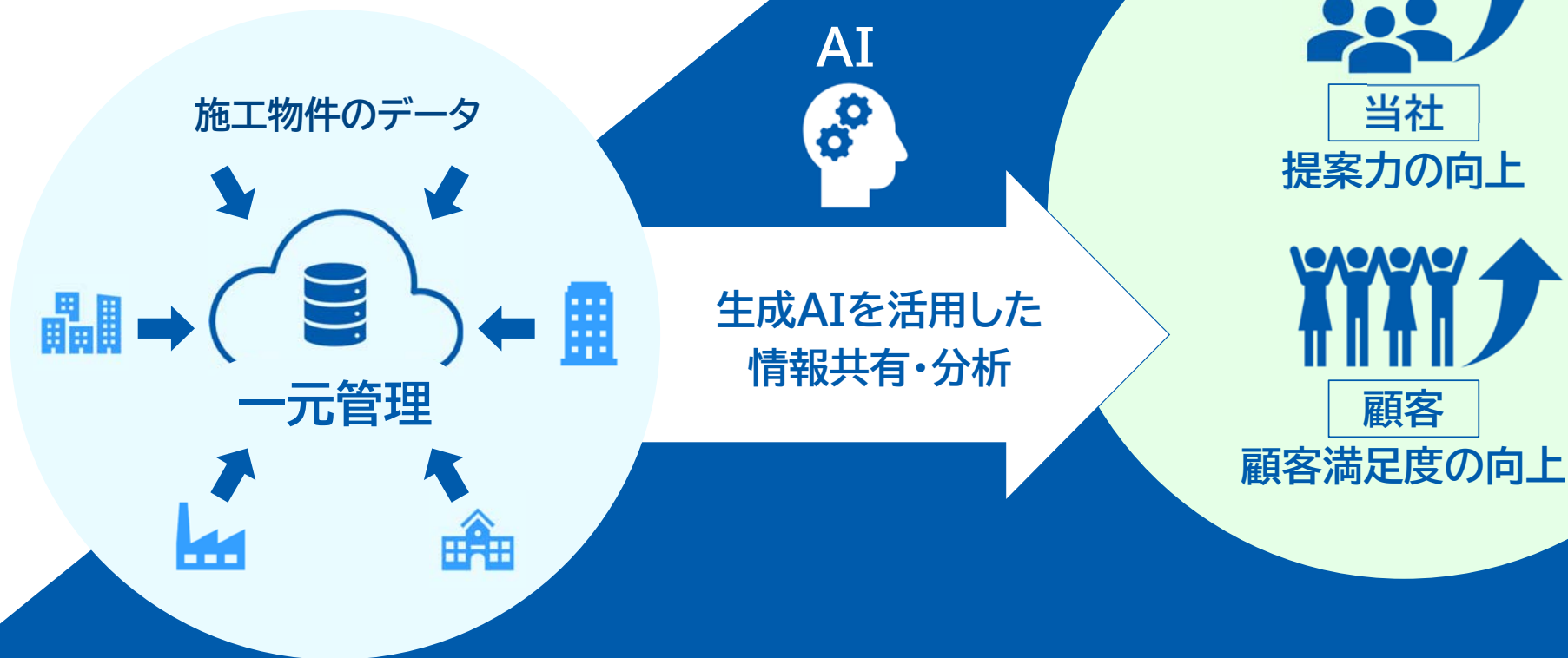
- ITインフラ環境の整備による競争力の強化
- ITリテラシー教育によるビジネス機会の拡大
- ICTツールの活用による業務効率の向上

03 コーポレートガバナンスの強化

- グループガバナンス方針の策定と浸透
- サステナビリティを考慮した経営の推進
- リスクマネジメントの統合評価とプロセス整備

重点施策 環境システム事業

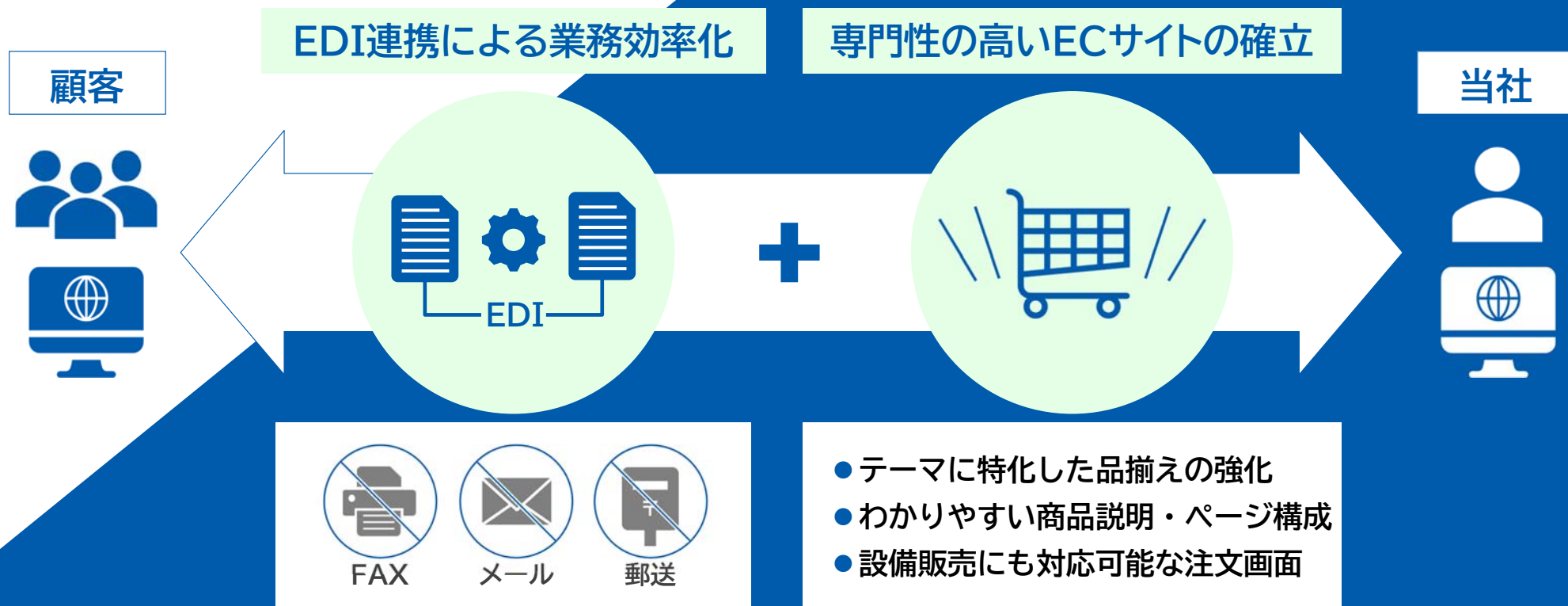
施工物件のデータ集積と提案力の向上



全国一元化したクラウド型データベースを構築し、生成AIを活用した情報共有とデータ分析を促進することで、業務効率化と提案力の向上、および、顧客満足度の向上につなげます。

重点施策 管工機材事業

顧客連携を含むECサイトの機能充実



顧客とのEDI連携をはじめ、ECサイトの専門性を高めて差別化を図り、相互の業務効率化に貢献します。

重点施策 管工機材事業

工事を含めたワンストップ化の促進

ワンストップ化の 重点領域

/ 01 受水槽工事

/ 02 空調設備工事

/ 03 衛生設備工事

アフターフォローの強化

- ▶ 技術情報のタイムリーな提供
- ▶ 消耗品交換の推奨
- ▶ 不具合等への迅速な対応

施工プロセスの強化

- ▶ 施工知識の習得
- ▶ 施工面を考慮した商品提案
- ▶ ノウハウ共有による属人化の解消

アフターフォロー

提案

管工機材事業の
事業サイクル

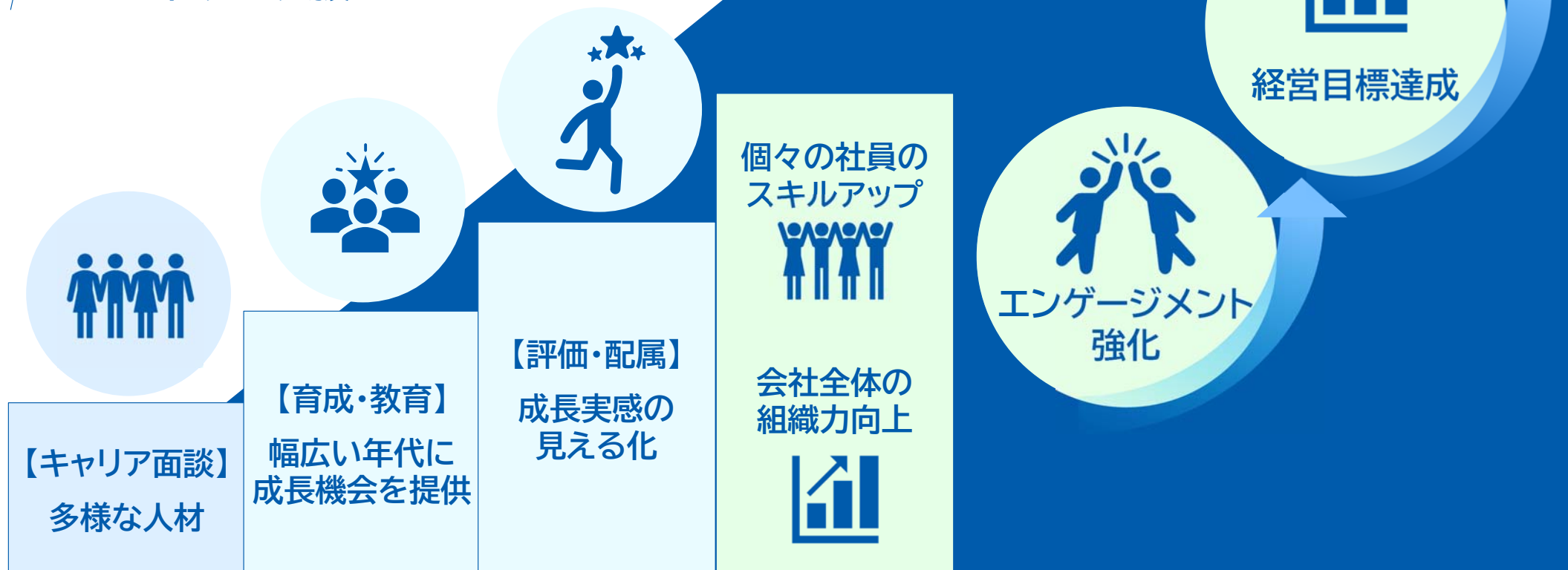
施工

調達

管工機材事業における施工プロセスを重点的に強化することで、価値創造のサイクルをより強固なものとし、環境システム事業とのシナジー創出による販路拡大と業容拡大を目指します。

重点施策 経営基盤強化

キャリア開発の支援



タレントマネジメントシステムを活用しエンゲージメントの強化と経営目標達成に繋がる戦略的な人材施策を推進します。

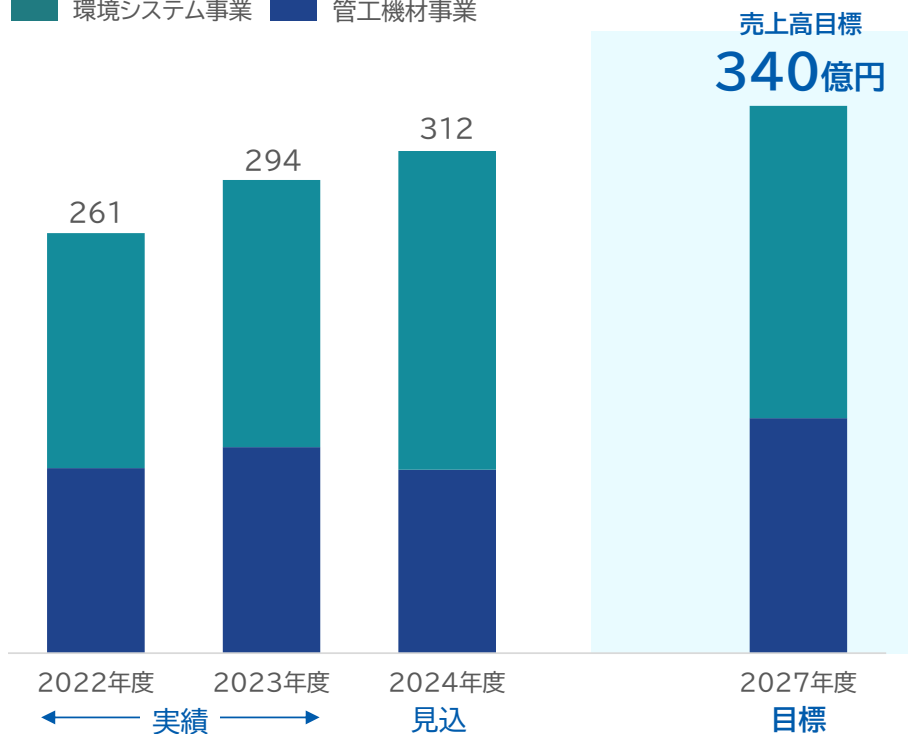
計数計画

2027年度に売上高340億円、営業利益37億円、ROE10%以上の達成を目指す

売上高目標

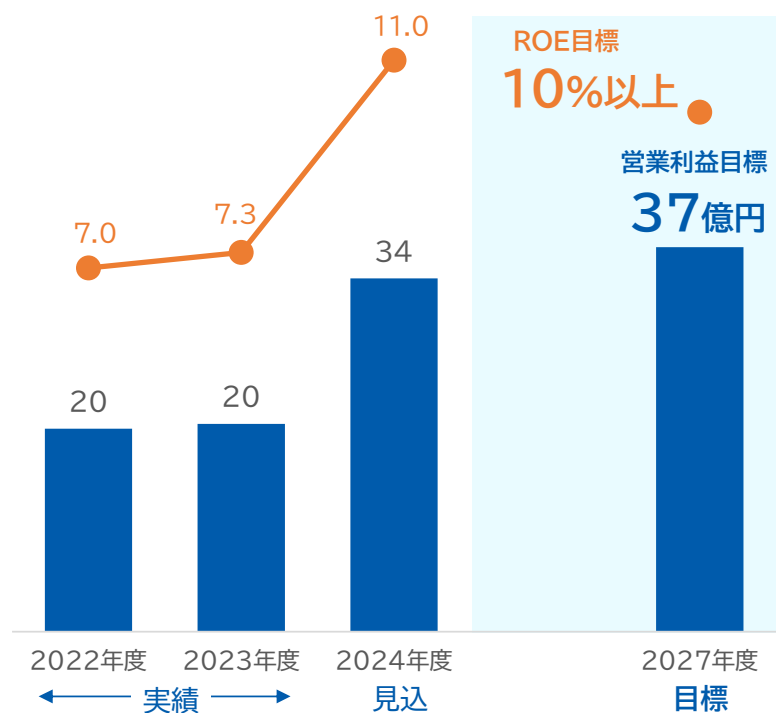
売上高(億円)

■ 環境システム事業 ■ 管工機材事業



営業利益・ROE目標

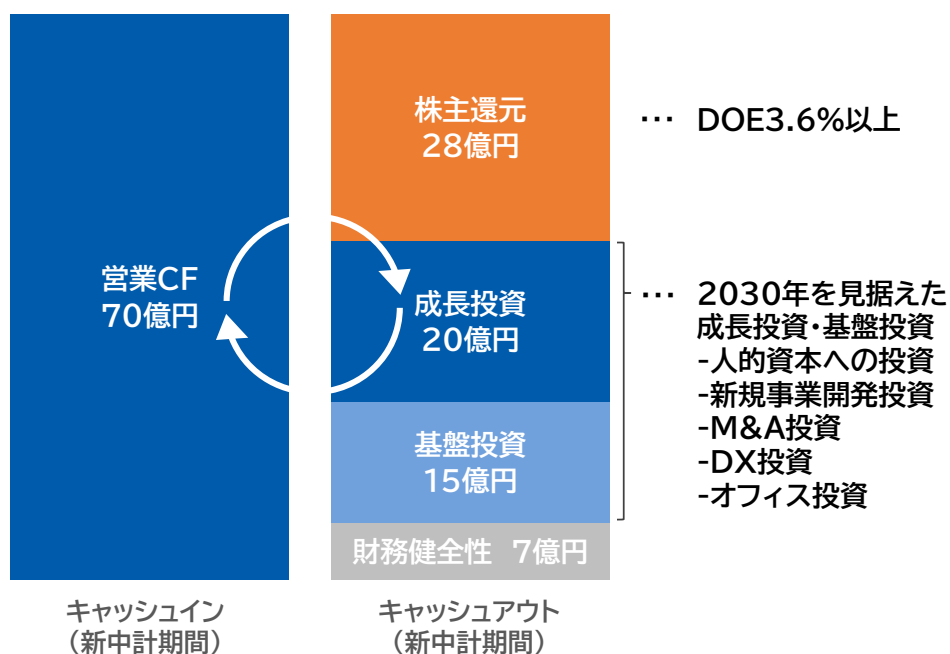
■ 営業利益(億円) ● ROE(%)



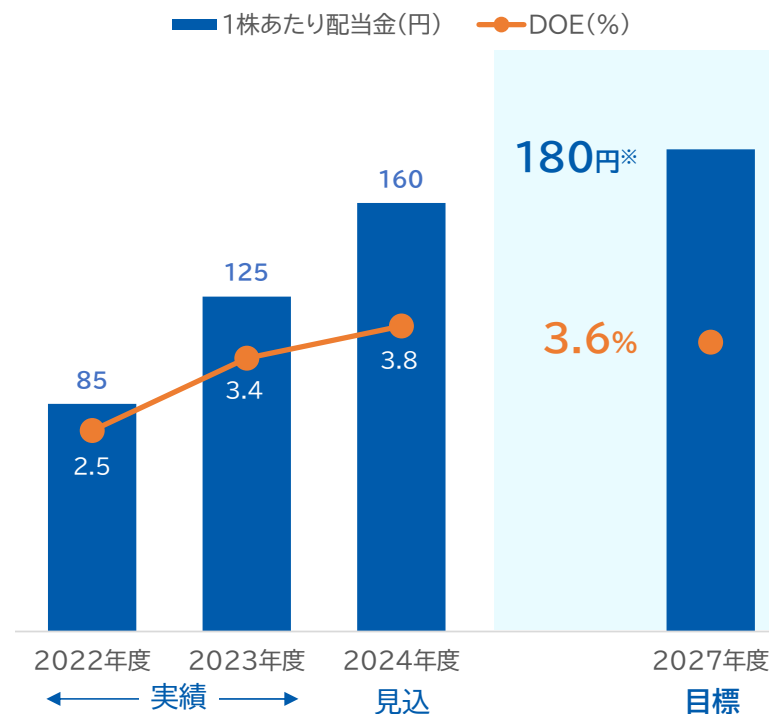
投資方針・株主還元

創出したキャッシュを投資と株主還元適切に配分し、企業価値向上に最適な資本構成を実現

キャピタルアロケーション方針



1株当たり配当金・DOE目標



※当社は、2025年4月1日付で、普通株式1株につき3株の割合をもって株式分割を行うことを予定しております。上記の1株あたり配当金は、当該株式分割前の数値を記載しております。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、積極的な開示に努めてまいります。
株主、投資家の皆様には安定的かつ継続的な利益還元を目指し、さらなる企業価値の向上に努めて参ります。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。
しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。
当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。



IR窓口

株式会社オーテック 管理本部 総務統括部 IR担当

TEL:03-3699-0411 / E-mail:ir-info@o-tec.co.jp

<https://www.o-tec.co.jp/>